

## 東通村と都市部との交流事業 2015～東通村のわらしを訪ねる会～ 今年も東京都北区立浮間小学校児童等が来村しました！

7月24日（金）～26日（日）の3日間、東通★東風塾（塾長 山崎孝悦）主催（東通村商工会及び東通村協力）による東通村と都市部との交流事業 2015「東通村のわらしを訪ねる会」が開催されました。今回は、東京都北区立浮間小学校（校長 渋谷泰史）5年生の児童12名（男子7名、女子5名）が、先生や保護者の方々とともに来村。東通小の児童の家庭にホームステイしながら、2泊3日の東通村生活を楽しみました。

入村式では、奥島教育長から児童に入村証とふるさと会員証が手渡され、「東通村の雄大な自然の中で、東通村で獲れた海の幸や山の幸を味わいながら、村の方々と、そして子ども達とも是非仲良しになってほしい」と挨拶がありました。その後、浮間小の児童たちは東通小学校へ。5年生とのゲームや、結馬ちゃん<sup>ゆめ</sup>の絆アート（右写真）を制作しながら交流を深め、大いに盛り上りました。

翌日は、奥島農園（大利）でブルーベリーの苗木を記念植樹し、初めてのブルーベリー摘みに夢中になりました。奥島農園の一画には浮間小のブルーベリー園があり、歴代の児童たちが植えた苗がすくすく育って実をつけています。次の漁業体験では、野牛漁港から沖へ出てカゴ漁を体験し、大量のカニに児童たち大はしゃぎでした。

最終日は、結馬ちゃんに会いに尻屋崎へ行った後、牧場まつりで東通小学校5年生の学年行事に加わり一緒にゲームをしたり、乗馬体験もしました。そして最後に、越善村長から浮間小の児童への温かい歓迎と本交流の輪が広がることを念願し挨拶がありました。

浮間小の児童たちは、ホームステイ先の家族との別れを惜しみながら、東通村での思い出をお土産に帰路に就きました。別れ際、山崎塾長は「皆さんの生活の中で時々東通村のことを思い出し、東通村を第二のふるさと想っていつでも遊びに来てほしい。」と児童たちに語りかけました。

※ 結馬ちゃん：平成25年度に交流10周年を記念して、村から浮間小学校へ寄贈した寒立馬（現在3才馬）。尻屋崎で放牧管理しています。



浮間小を歓迎する越善村長



東通小との交流（絆アート制作）



農業体験（ブルーベリー摘み取り）



漁業体験（カゴ漁）



牧場まつりで乗馬体験



ホームステイ先の家族とみんなで記念撮影